

フロンティア漁場整備事業による浮魚礁の早期整備について

政策提言先 水産庁

政策提言の要旨

- ◎ 我が国周辺海域におけるかつおをはじめとする高度回遊性魚類の資源の回復と効率的な漁獲による漁業生産量の増大を図るため、フロンティア漁場整備事業による浮魚礁の早期整備を提言します。
- ◎ 浮魚礁の早期整備に向けて必要な増殖効果を明らかにするための調査等を加速化するように提言します。

【政策提言の具体的内容】

- ・ 我が国周辺海域におけるかつおをはじめとする高度回遊性魚類の資源回復と効率的な漁獲による漁業生産量の増大を図るため、表層型浮魚礁をフロンティア漁場整備事業で早期に整備できるよう、増殖効果を明らかにするための調査等を加速化するように提言します。

【政策提言の理由】

- ・ 我が国周辺海域へのかつおの来遊量は、太平洋熱帯域でのまき網漁業による漁獲量の急増にともない、減少傾向が続いています。
- ・ 我が国周辺海域におけるかつおの資源を回復させる手段の一つとして、かつお等の高度回遊性魚類を主な漁獲対象とする我が国太平洋側の海域において、フロンティア漁場整備事業により資源増殖を目的とした表層型浮魚礁を整備することが有効であると考えます。
- ・ 本県においては、漁業のIoT化等により操業の効率化や経営の安定化を図る「高知マリノイノベーション」の実現に向け、浮魚礁である「土佐黒潮牧場」の機能を強化し、魚群の蛸集状況などを漁業者に提供するシステムの構築に取り組んでいるところです。資源の保護・増殖を目的とするフロンティア漁場整備事業は、こうした本県の取組を後押しし、漁業生産の安定に寄与するものと考えます。
- ・ 当該事業での浮魚礁の整備にあたっては、対象魚種の絞り込みや浮魚礁における資源増殖に関する科学的知見の集積などの課題があることから、国においては昨年度から調査に着手いただいています。
- ・ フロンティア漁場整備事業による我が国太平洋側海域のEEZ内における浮魚礁整備の早期実現に向け、増殖効果を明らかにするための調査等を加速化するように提言します。